

# I. グランドハンドリング

2018年 総合安全要請

区分番号	要請番号	区分	優先度	新規・継続	要請先	要望事項	要望理由
I01	1	ランプ内のAED設置個所表示について	A	継続	羽東本	東京国際空港において、AEDの所在を表す表示を、施設の入り口に表示するように指導すること。	東京国際空港の空港事務所より、AEDの所在を表すランプ内のマップは提示されたが、実際の建物入り口には表示がないために、緊急時に設置場所の把握ができない。
I02	1	ランプ内の環境整備について	B	継続	羽東本	ランプ内を走行している作業車両の排気ガスが、環境省の基準を満たしているのかを調査すること。	ランプ内を走行している車両が、陸運局指定のナンバープレートを取得していないと、車検時に行われる排気ガスの成分検査がないので、環境基準を満たしていない可能性がある。
I03	1	東京国際空港における安全問題について	A	継続	羽東本	到着旅客が、クリーンエリアへ逆流しなくてもすむような導線に変更すること。	手荷物を受け取らずにロビーに出してしまったお客様が、手荷物を受け取られたお客様の出口に戻って来られ、荷物を取りに入ろうとしてくる。
I03	2	東京国際空港における安全問題について	A	継続	羽東本	東京国際空港におけるSpot24番からPushBackする際のガイドラインとして、Spot24番の所で切れているTWYLineを、管制塔側に延伸すること。	現在、PushBackの作業における補助ラインとして破線が引かれてはいるものの、実作業をする上では、TWYLineが管制塔側に延伸されている方が、PushBackする上での目安としての補助ラインになる。
I03	3	東京国際空港における安全問題について	A	継続	羽東本	東京国際空港のSpot809への牽引作業で、走行する路面の起伏が激しいので、改修すること。	傾斜角が規定値内であっても、Spot808～809付近の隆起が激しい為に、Spot809への牽引作業で、右折時にジャックナイフ現象が起こらないような過度な緊張を強いられている。
I03	4	東京国際空港における安全問題について	A	継続	羽東本	東京国際空港のSpot605番に牽引作業で走行する路面の起伏が激しいので、路面の改修すること。	SPOT605番に牽引作業で航空機を入れる時のSPOT内の起伏が激しいので、傾斜角が規定値内であっても過度の緊張を強いられている。
I04	1	成田新東京国際空港の貨物エリアの安全対策について	A	継続	東本	成田空港の第3貨物エリア付近の車両の駐停車を規制するか誘導員を配置すること。	JL3横のゲートの所に、一般の大型トラックが停車しているので、視界が悪く危険である。
I05	1	規制緩和について	A	継続	羽東本	空港制限区域内での運転資格は、道路交通法に準拠した運用を維持すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者による教育訓練内容には差異があり、ランプ内の安全確保ができるとは思えない。</li> <li>・最低限公安委員会が行う講習を受講して、運転する車両の免許を取得した上で、事業所が行うランプ内の安全教育を受ける事で、ランプ内の安全が維持できると考える。</li> </ul>
I06	1	貨物・郵便物の安全について	A	継続	東本	航空貨物利用運送事業者や郵便業者に対しても、航空の危険品輸送に関する一般教育や安全教育訓練を十分に実施するように指導すること。	航空輸送の安全確保をするための検証を迅速に行う事で、日々進化していく貨物・郵便物の安全輸送に対応する必要がある。
I06	2	貨物・郵便物の安全について	A	継続	東本	航空の危険品輸送に関して、未然に無申告危険物が搬入されないような体制を構築すること。	貨物・郵便物ともに、無申告危険物が現場では発見されている。